

日ごろの備えで身を守る



一瞬のうちに1・2階がつぶれたビル（阪神・淡路大震災）

今から78年前の大正12年の9月1日は、関東大震災が起きた日です。この日を「防災の日」と定め、災害に対する認識を新たにすると位置づけています。地震はいつ起こるか分かりません。また、9月は台風シーズンでもあります。この機会に、防災について考えてみませんか。

市内で発生が考えられる災害は風水害、航空機事故、地震災害などです。特に注意が必要なのは被害の規模からいって地震災害です。地震の恐ろしさには、建築物の倒壊とそれに伴う火災の発生があります。まさかのときのための心構えを再確認してみましょう。

日ごろの備えは大丈夫？

家族で防災会議
家の中の安全な場所、避難場所や避難経路などの確認、災害が発生したときの役割分担を決める。また家族が離ればなれになったときの連絡方法や最終的に会う場所も決めておく。

防災訓練

積極的に参加し行動を体得する。
家・ブロック塀・石塀の補強
家具類の転倒防止
家具類や大型電化製品などは転倒防止策を施しておく。また、家具の上などにガラス製の装飾品や重いものを置かない。置く



ときは落下防止の措置をする。
消火器などの備えを

消火器や消火用水の用意を。ふるろに水を張っておくのもよい。
非常持出品の備えを

1カ所にまとめ、いつでも持ち出せる場所に保管。だれが持ち出すかを家族内で確認する。

非常持出品をチエック

避難所にとり着いても、救援物資が届くまでに約3日かかるといわれています。そこで、この3日間を切り抜けるために、次の非常持出品を用意しましょう。食料品・医薬品・電池などは使用期限の確認も忘れず。



防災は わが家から

あつ地震だ!

いざ地震となると、普段冷静な人でも慌ててしまいかもしれません。あなたは正しく行動できますか。

まず落ちて着いて身の安全を丈夫な机やテーブルの下に身を隠す。座布団などで頭を保護する。玄関などの扉を開けて非常脱出口の確保を。すばやく火の始末

もし、出火したら協力し合って初期消火に努める。慌てて戸外に飛び出さない狭い路地・塀のわき・がけに近寄らない

正確な情報で行動を避難は車を使わず徒歩で協力しあつて応急救護を災害が大きくなると消防署による救急活動が間に合わなくなることもあるので、軽いけがなどの処置はお互い協力し合つて応急救護を。

救急・衛生用品



常用している薬がある人は、それらも忘れずに

非常食品



乾パン・ビスケット類、飲料水など火を通さなくても食べられる物

携帯ラジオ



予備の電池も

照明器具



ローソク、懐中電灯、マッチなど

衣類



下着、セーター、ジャンパー、防災ずきんなど

貴重品



預金通帳、印かんなど

9月9日は救急の日

9月9日は、救急の日です。市では次のとおり救急キャンペーンと普通救命講習会を開催します。

自分の前で突然家族が倒れ、意識を失ったらあなたはどうしますか。あなたのすばやい応急手当と119番への通報が「救命リレー」のスタートです。

人が倒れて呼吸が停止してから数分で心臓も停止します。2分以内に人工呼吸や心肺蘇生の応急手当を始めると、ほとんどの人が助かるといわれています。また、5分後になると生存率は約25%、4人に1人しか助かるとされています。



この機会に応急手当を学ぼう

救急キャンペーン

【三里塚消防署】

▶日時=9月7日(金) 午前9時30分~正午(献血も行っています)

【ボンベルタ百貨店】

▶日時=9月8日(土) 午前10時~午後2時

【イオン成田ショッピングセンター】

▶日時=9月9日(日) 午前10時~午後2時

普通救命講習会

▶日時=9月23日(祝) 午前9時30分~午後0時30分

▶会場=市役所6階中会議室

▶内容=心肺蘇生法、応急手当の仕方、救急車の利用方法など

▶定員=30人(先着順)

▶申し込み方法=直接または電話で消防本部警防課(☎20-1592)へ



地域の
協力体制を

自主防災組織で 自分たちのまちを守ろう

現在のわたしたちの生活は近隣

関係が薄れ、隣に住む人の顔も名

前も知らないという状況が生まれ

てきています。災害が発生したと

き、被害を最小限にするためには

地域住民によるコミュニケーション

が不可欠です。そのため、日こ

ろから地域の連帯意識を育ててお

くことが大切です。

自主防災組織とは？

自主防災組織は、災害が発生したときに組織的な防災活動を行うため、区・町内会・自治会などの単位で結成されています。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という認識をもって、住民が自発的に結成し、情報班、消防班、避難誘導班などの役割分担をもった組織です。また、日ごろから市や消防署と連携を密にし、災害に備えて訓練を行います。

市内では22の自主防災組織があ

ります。

組織をつくるメリット

防災に対する住民の意識が高ま

り、市の補助により防災用具など

が整備できます。生活に安心感・

信頼感が生まれ、住みやすい環境

になると共に、地域住民の

連帯意識が高まり、コミュ

ニティが育ちます。

もしもに備えて

もしも災害が発生したら、自分

一人や家族だけでは本当の安全確



地域の連帯感も高まります

保はできません。地域全体が安全

になることにより、初めて自分や

家族の安全が守れるのです。

いつ発生するか分からない災害

に備えて、あなたの住む地域も

「自主防災組織をつくりませんか。

備えあれば憂いなし わが街に 防災意識健在なり

美郷台3丁目自主防災会
会長 島津武彦さん



「安全で安心して住める街」を目指し、平成9年12月に「美郷台3丁目自主防災会」を結成しました。

自主防災会がいざというときに防災活動の機能を発揮するには、日ごろから防災意識の啓発に努め、住民一人ひとりが落ち着いて初期活動ができるように、あらゆる状況を想定した訓練を行うことが大切です。わが自主防災会では、住民の集まる年3回の全市一斉に実施される環境美化運動の日に、町内大掃除のあとに煙の中の誘導訓練や消火器を使っての初期消火訓練などを行い、防災の必要性を訴えています。現在、防災会は男性が中心ですが、災害が発生するのは男性がいる時間帯とは限りません。むしろ家庭にいる時間の多い女性が防災の必要性を認識し、自主防災活動の中心となっていただくことが今後の課題です。

また、災害発生時に各自主防災組織がお互いに連絡がとれる協力体制を整えておくべきだと思います。「自主活動」はいざというとき「連合活動」になります。各地区の自主防災組織が集まって、年1回合同訓練を実施することも市民の防災意識を高めるうえで必要ではないでしょうか。阪神・淡路大震災時のボランティア活動を教訓にして防災訓練を継続的に実施しなければなりません。まさに「継続は力なり」でありましょう。



災害に強い まちづくりを目指して

初動体制の整備

防災行政無線で災害情報を

地震や台風などの災害情報をいち早く、正確にみなさんに伝えるために、市内91カ所に防災行政無線を設置しています。地震については、震度4を感知すると自動的に放送され、みなさんに警戒を呼びかけます。停電時でも防災行政無線は稼働します。

万一、聞き逃したときは消防テレビホンサービス(☎24 33338)に電話を。また、火災についての情報も聞くことができます。放送後30分間は情報を繰り返し流しています。



救助物資や資器材を備えている防災備蓄倉庫

災害救助体制の整備

防災備蓄倉庫

市内14カ所にある備蓄倉庫には、乾パン・アルファ米などのは、非常食各2万4,000食、水運搬袋2万6,000枚、毛布3,000枚などの食料・防災用品を蓄えています。

給水拠点

被災者に対して、成田給水場(県水)、市内10カ所の配水場、市内12カ所にある防災井戸から水を確保し給水活動を行います。諸機関との応援協定

大規模な災害が起きた場合、市だけでは対応しきれなくなります。



災害時には給水車が被災者のもとへ

そこで、「災害時における物資の供給に関する協定」を締結している業者や県内市町村に協力を要請し、生活必需品を確保します。

防災訓練

市では地震災害時などに円滑な活動が図れるように、

関係機関・事業所および市民の協力を得て、総合訓練を実施しています。

自主防災組織

家屋の倒壊や道路の寸断で、防災機関の活動は著しい制限が予想されます。このとき大切なのは地域の人人々による救助・救援活動です。

市では、自治会などで自主防災組織を設立すると、補助金の交付や資器材の貸与を行っています。

緊急時の避難場所

一時的に身の安全を確保する避難場所として39カ所を指定

指定避難場所一覧表

🏠...防災井戸 🏠...防災備蓄倉庫

1 成田高等学校		14 久住中学校	🏠	27 成田国際高等学校	
2 成田小学校	🏠	15 勤労者体育センター	🏠	28 新山小学校	
3 成田市役所	🏠	16 久住第一小学校		29 西中学校	🏠
4 成田国際文化会館		17 豊住小学校	🏠	30 加良部小学校	
5 成田中学校		18 豊住中学校	🏠	31 橋賀台小学校	
6 印東体育館		19 遠山小学校		32 玉造小学校	
7 公津小学校		20 遠山中学校	🏠	33 玉造中学校	🏠
8 平成小学校	🏠	21 三里塚小学校	🏠	34 成田北高等学校	
9 成田西陵高等学校		22 本城小学校		35 神宮寺小学校	
10 八生小学校	🏠	23 東小学校		36 中台小学校	
11 大谷津運動公園	🏠	24 中央公民館		37 中台中学校	🏠
12 中郷小学校	🏠	25 吾妻小学校		38 向台小学校	
13 久住第二小学校		26 吾妻中学校	🏠	39 中台運動公園	

(注) 防災備蓄倉庫は上記のほか東和田駐車場にあります。

しています。地震が起きたとき家族が同じ場所にいるとは限りません。近くの避難場所を調べておきましょう。

特集および防災関係などについて、くわしくは総務課防災対策室(☎20 1510)へ。